

# 原点戻り 活躍誓う

## 野球・独立リーグ 兵庫BS

三田市を本拠にする野球・独立リーグの兵庫ブルーサンダーズ(兵庫BS)が、来季のチームの方針に「原点復帰・再生」を掲げた。今季はリーグ戦2位。1位のチームと対戦するチャンピオンシップ(CS)でも敗退した。ファンらはチームの奮起を期待している。

今季のリーグ戦は15勝17敗1分けで連覇を逃した。しかし、三山篤郎投手がリーグ最多勝(8勝)を挙げ、活躍もあった。

今月2日にあったシーズン報告会には、荒木一聡副知事や森哲男市長も出席。スポンサー企業の代表らが「来年はぜひ優勝を」「リーグ2位をばねに」と選手たちを激励した。

三山投手は来季の活躍を



来季の健闘を誓う兵庫ブルーサンダーズの選手たち＝三田市の市まちづくり協働センター

誓い、「NPB(日本野球機構)の球団にありがた」とあいさつ。鈴木伸良監督は「CSは負けたが、優勝した和歌山ファイティングバーズといい試合ができた」と振り返った。

関西学院大の林直也教授は「スポーツチームが地域に根ざす意義」と題して講演した。兵庫BSがあいさつ活動など様々な地域活動に取り組むことを評価した上で、「地域住民の生活を楽しく豊かに幸せにする大きな視点を持つことが大切」と話し、「個性ある球団に」と励ました。

(藤井匠)